

都市再生整備計画

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

成田ニュータウン地区都市再生整備計画

平 成 2 5 年 3 月

千 葉 県 成 田 市

都市再生整備計画

なりた
成田ニュータウン地区

千葉県 なりた
成田市

平成25年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	なりた 成田市	地区名	なりた 成田ニュータウン地区	面積	573 ha
計画期間	年度 ～ 平成 29 年度			交付期間	平成 25 年度 ～ 平成 29 年度		

目標
大目標: 成田市の新たな顔となる持続可能なまちづくり (～サスティナブルシティ・成田～)
目標1 広域交通ネットワークの形成による交通利便性の向上を図る
目標2 都市施設の整備により新たな魅力を創出する
目標3 三世代交流を実践する安全・安心に過ごせる住環境を醸成する。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・成田ニュータウンは、成田空港建設に伴う住宅地供給を目的に昭和43年から昭和62年までに建設された新住宅市街地であり、本地区は成田ニュータウンとその北側に隣接した松崎地区からなる地区である。 ・松崎地区では、成田新高速鉄道成田湯川駅が完成し、一般国道464号北千葉道路(仮称)松崎ランプと市道松崎塙下湯川線整備が進められている。 ・成田新高速鉄道は、成田空港と東京都心部を30分台で結ぶ鉄道で、平成22年7月に開業した。また、成田新高速鉄道と平行して整備される一般国道464号北千葉道路は、本地区の (仮称) 松崎ランプにて市道ニュータウン中央線と連絡されることとなる。 ・本地区は、成田新高速鉄道及び一般国道464号北千葉道路の整備により成田空港及び東京方面への広域的なネットワークが形成されつつあり、これらのネットワークに伴うポテンシャルを適切に受け止められる都市基盤の早急な整備が望まれている。 ・成田ニュータウンは、成熟した優良な住宅市街地であるが、地区内の公共施設の老朽化やバリアフリー化への非対応、近年の社会情勢の変化等に伴う犯罪の増加、駅新設に伴う成田湯川駅周辺の交通事故の発生増加等が危惧されているため、高齢者や子育て世帯などの多様な住民が、安全・快適に暮らせる住環境の充実が望まれている。 ・平成21年度を境に人口が減少傾向にあるため、都市施設の整備によりまちの魅力や付加価値を創出し、新たな人口を呼び込むことが必要とされている。 ・成田ニュータウンでは、地元住民からなるまちづくり組織が設立され、活動を開始している。
課題 ・北千葉道路のランプを受け止めるための道路整備などにより、新たな都市のエントランスとして成田湯川駅を中心とした交通ネットワークの充実が必要である。 ・成田ニュータウンの良好な住環境を維持・拡充するため、地区施設の老朽化やバリアフリー化への対応を進めるとともに、新たな魅力・付加価値の創出等、まち全体の見直しが必要である。 ・高齢化や人口減少等の時代に対応したまちづくりとして、防犯・防災対策、子育てしやすい環境の整備等、誰もが安全・快適に暮らせるまちづくりが必要である。
将来ビジョン(中長期) 成田都市計画区域の「整備、開発及び保全の方針」(平成19年2月)においては、北千葉道路、成田新高速鉄道の整備を前提とした交通体系について以下のように位置づけている。 ・国際的な交通拠点性を活用できる広域及び地域連携にふさわしい交通体系の確立 ・公共交通と自動車交通との適切な機能分担を図れる交通体系の確立 ・道路網の段階構成と居住環境を保全する交通体系の確立 また、市施策方針においては、交通体系の整備や住環境の向上に関して、以下のような位置づけがなされている。 ・防犯対策・災害に強いまちづくりの推進 ・子どもが地域で育つまちづくりの推進 ・幅広い世代が快適に暮らせる身近な生活環境整備 ・住民が誇れるまちを創造するため、新たな魅力・資産に対する付加価値の創出

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区南北間のアクセス時間	分	成田ニュータウン北部地域から、南部地域までの通過時間	交通ネットワークの整備により、地区の北部地域から南部地域までの通過時間の短縮を目指す。	11	平成24年度	7	平成29年度
地域への愛着に対する満足度	%	本地区に今後も住み続けたいと感じている住民の割合 (住民アンケートより)	都市施設の整備により、まちの新たな魅力を創出することで、今後も地区に住み続けたいと感じる人の割合を上げる。	34.5	平成24年度	50.0	平成29年度
地区内居住人口	人	本地区の居住人口	幅広い世代が安全・安心に過ごせる住環境を醸成し、人口の流出を抑制する。	33,835	平成23年度	33,835	平成29年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
●広域交通ネットワークの形成による交通利便性の向上 ・成田新高速鉄道の成田湯川駅周辺における道路整備により南北のアクセス性及び駅の利便性向上を図る。 ・一般国道464号北千葉道路松崎ランプを接続し、ニュータウン中央線の道路機能の向上と、本地区から他の地域へのネットワークの形成を図る。		道路事業 ニュータウン中央線(基幹事業/市) 一般国道464号北千葉道路整備事業 (関連事業/国・県) 市道松崎塙下湯川線 (関連事業／市)
都市再生整備計画		公園事業 近隣公園・街区公園 (基幹事業/市) 高質空間形成施設 準用河川松崎川(基幹事業/市) 再生可能エネルギー導入事業(提案事業/地域創造支援事業/市) 下水道整備事業 (提案事業/地域創造支援事業/市)
●安全・安心に暮らせる住環境の形成 ・準用河川松崎川の堤防とニュータウン中央線の歩道を一体的に整備し、安全・快適で潤いのある歩行空間を形成する。 ・公園のバリアフリー化等により、三世代交流の場としての活用を図る。 ・保育園や老人福祉施設の整備により、幅広い世代が安心して暮らせる住環境を形成する。 ・下水道整備により生活の安全性を確保する。 ・防犯対策として、地区内の要所に防犯カメラを設置する。		公園事業 近隣公園・街区公園 (基幹事業/市) 高質空間形成施設 準用河川松崎川(基幹事業/市) 保育園増築事業 (提案事業/地域創造支援事業/市) 再生可能エネルギー導入事業(提案事業/地域創造支援事業/市) 老人福祉施設整備事業(提案事業/地域創造支援事業/市) 下水道整備事業 (提案事業/地域創造支援事業/市) 防犯カメラ設置事業 (関連事業/市)
その他		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	4,238	交付限度額	1,695.2	国費率	0.4
---------	-------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考) 事業期間		交付期間内事業期間		(参考) 全体 事業費	交付期間内 事業費	交付期間内事業費		交付対象 事業費
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路	ニュータウン中央線	成田市	直	1,000m	19	28	25	28	5,000	3,535	3,535		3,535
公園	近隣公園 (3箇所)	成田市	直	123,326㎡	25	27	25	27	30	30	30		30
	街区公園 (23箇所)	成田市	直	54,525㎡	25	29	25	29	120	120	120		120
古都及び緑地保全事業													
河川													
下水道													
駐車場有効利用システム													
地域生活基盤施設													
高質空間形成施設	—	成田市	直	—	27	29	27	29	50	50	50		50
高次都市施設													
地方都市リノベーション推進施設													
生活拠点施設													
既存建造物活用事業													
土地区画整理事業													
市街地再開発事業													
住宅街区整備事業													
地区再開発事業													
バリアフリー環境整備事業													
優良建築物等整備事業													
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型												
	沿道等整備型												
	密集住宅市街地整備型												
	耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業													
住宅地区改良事業等													
都心共同住宅供給事業													
公営住宅等整備													
都市再生住宅等整備													
防災街区整備事業													
合計									5,200	3,735	3,735	0	3,735

提案事業（継続地区の場合のみ記載）

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考) 事業期間		交付期間内事業期間		(参考) 全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業	保育園増築事業	橋賀台保育園他3箇所	成田市	直	4箇所	25	28	25	28	163	163	163		163
	再生可能エネルギー導入事業	橋賀台保育園他4箇所	成田市	直	5箇所	25	29	25	29	123	123	123		123
	老人福祉施設整備事業	成田市赤坂	成田市	直	2,000㎡	25	25	25	25	121	121	121		121
	下水道整備事業	-	成田市	直	1式	25	29	26	29	96	96	96		96
事業活用調 査		-			-									
		-			-									
		-			-									
まちづくり活 動推進事業		-			-									
合計										503	503	503	0	503

合計(A+B)	4,238
---------	-------

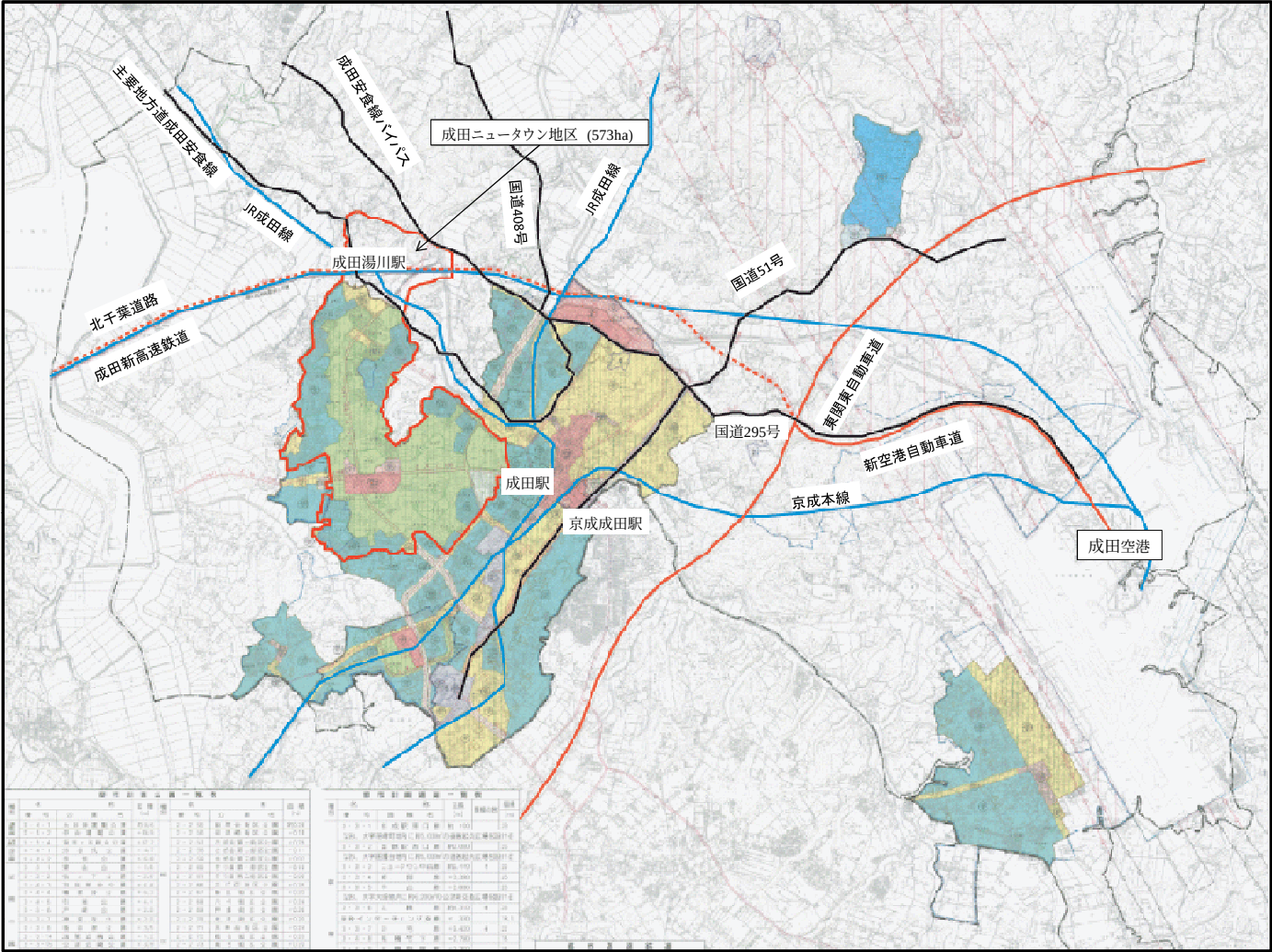
(参考) 関連事業

[illegible]

都市再生整備計画の区域

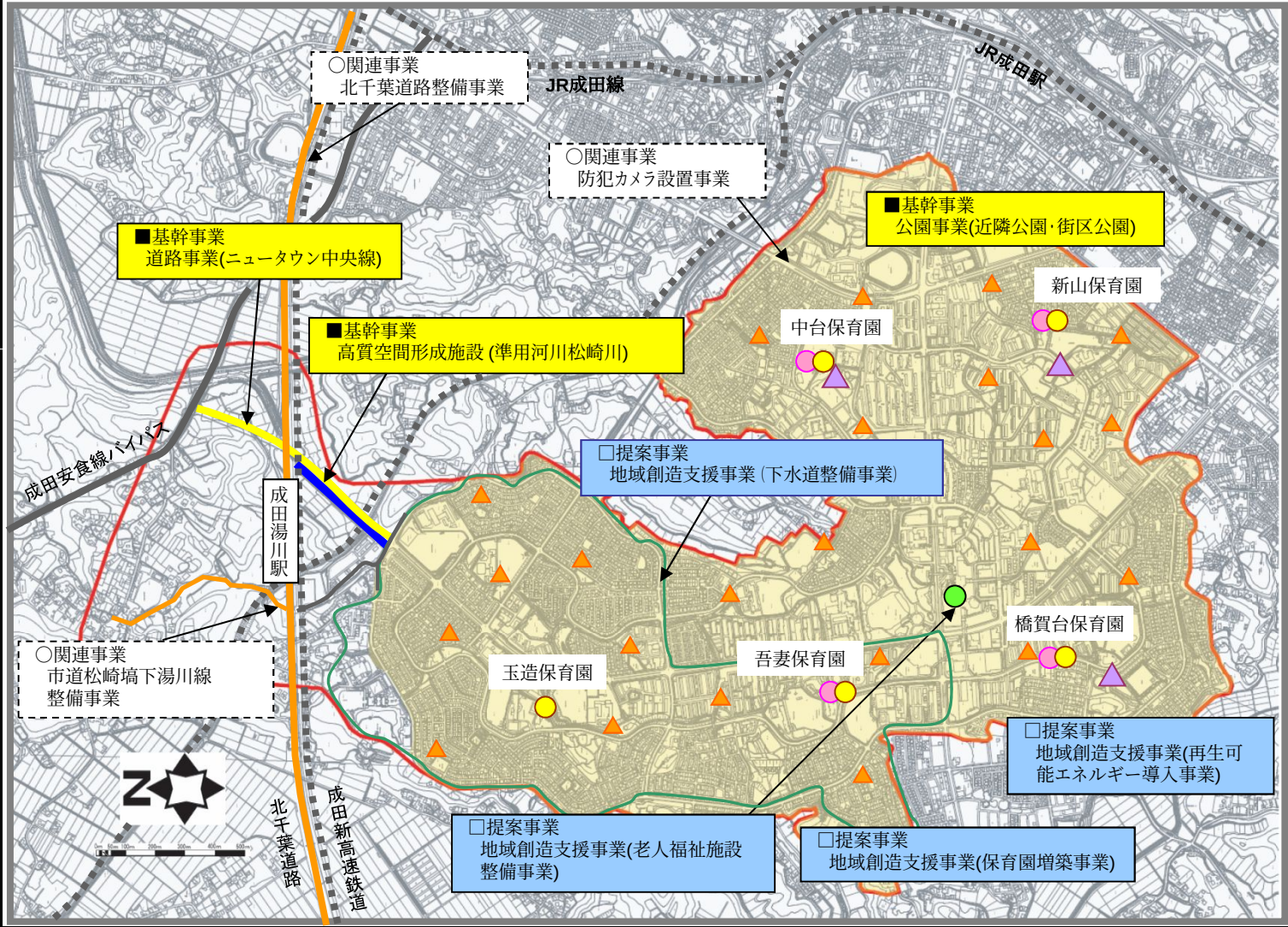
成田ニュータウン地区(千葉県成田市)

面積	573 ha	区域	成田市赤坂・吾妻・加良部・橋賀台・玉造・中台と松崎の一部
----	--------	----	------------------------------



成田ニュータウン地区(千葉県成田市) 整備方針概要図

目標	大目標:成田市の新たな顔となる持続可能なまちづくり (～サスティナブルシティ・成田～) 目標1:広域交通ネットワークの形成による交通利便性の向上を図る 目標2:都市施設・都市資産の更新により新たな魅力を創出する 目標3:三世代交流を実践する安全・安心の住環境を醸成する	代表的な指標	地区南北間のアクセス時間 (分)	11	(平成24年度) →	7	(平成29年度)
			地域への愛着に対する満足度 (%)	34.5	(平成24年度) →	50.0	(平成29年度)
			地区内居住人口 (人)	33,835	(平成24年度) →	33,835	(平成29年度)



凡 例		
計 画 区 域		
基幹事業	道路事業	■
	公園事業(近隣公園)	▲
	公園事業(街区公園)	▲
	高質空間形成施設整備	■
提案事業	保育園増築事業	●
	再生可能エネルギー導入事業	●
	老人福祉施設整備事業	●
	下水道整備事業	■
関連事業	道路整備事業	■
	防犯カメラ設置事業	■

凡 例	
■	基幹事業
■	提案事業
---	関連事業